

●佐伯市のいちご産地の紹介

大分県の一番南に位置する佐伯市は、温暖な気候を活かした施設園芸が盛んな地域です。大分県のブランド品種である「ベリーツ」の作付けが拡大しており、全国の市場から高評価を受けています。労力面では、パック詰め前の簡素化（バラ詰め等）で生産者の労力軽減体制も確立しました。

就農するにあたっては、いちご栽培の技術や経営をベテラン農家のもとで研修する「佐伯市ファーマーズスクール」を設置・運営しており、2年間での新規就農者の育成を図っています。品種は「ベリーツ」を学びます。

- ・高設栽培システムを使い、腰の高さでの収穫が可能のため、体への負荷が小さいです。
- ・いちごのパック詰め作業が忙しく、夏は、比較的時間に余裕がありますが、苗管理が必要です。

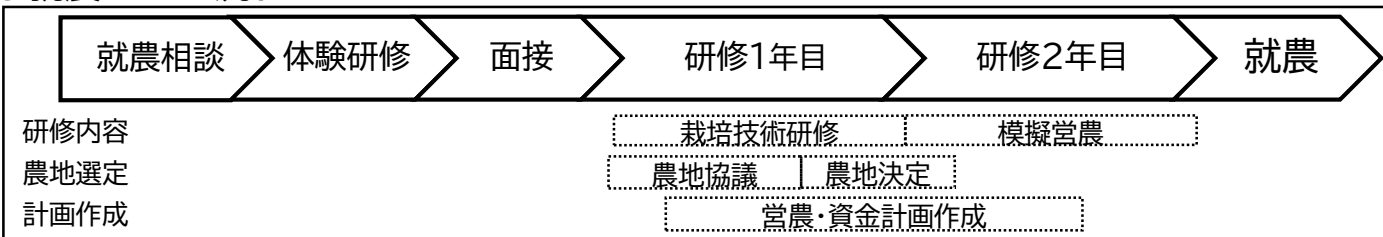
『農業未経験のあなたでも大丈夫！』部会、JAおおいた・佐伯市・南部振興局の関係機関が主軸となってサポートします。



●いちご栽培スケジュール

品目名/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
いちご	収穫					片づけ		定植			収穫	
						育苗管理						

●就農までの流れ



●経営目標

就農5年目の経営目標

品目・規模・収量(単収/10a)

・いちご 22a 11t(5t)

販売額・所得

・販売額 1,580万円・所得 732万円

従事者

・家族 2人・雇用 1人 (2月～5月)

就農10年目の経営目標

品目・規模・収量(単収/10a)

・いちご 22a 11t(5t)

販売額・所得

・販売額 1,580万円・所得 732万円

従事者

・家族 2人・雇用 1人 (2月～5月)

5年間で技術確立

※減価償却費は所得に含む

※経営目標はあくまでも目標であり、保証するものではありません。

●モデル経営体の紹介

氏名 黒岩 仁明

経営概要

- ・面積23a 単収6.3t 販売額1,700万円
(部会トップクラスの単収)
- ・構成員2名(臨時雇用2名)
- ・就農6年目
- ・販売出荷先 JA共販

メッセージ

- ・新しい生産仲間、待っています。



●私たちがサポートします ～技術習得から就農までのサポート体制～

JAおおいた南部事業部佐伯苺生産部会

部会員数：27戸

面積：6.0ha 販売額：3.5億円(令和2年実績)

就農コーチ：6名

【活動】

- ・技術向上のため、会員によるハウス巡回。栽培講習会



●佐伯市の支援策

- ・佐伯市ファーマーズスクール
研修期間2年、
就農コーチの圃場での実習、模擬経営
(2年目)、座学(月1回)
- ・移住等の支援
研修期間中の家賃を助成(1万円/月)
新規住宅建設補助、新規住宅購入補助、
改修補助、引っ越し補助
- ・子育て支援
さいきっ子医療費助成事業
中学校3年生までの入院・通院にかかる
医療費(健康保険適用分)を一部助成

●産地が求める人材

- ・農業に対する情熱があり、コミュニケーション能力があること
- ・就農コーチや関係機関からの助言、指導を聞き入れることができること
- ・佐伯市ファーマーズスクール実施要領の研修生の要件を満たす方
- ・研修生の1組2名程度募集

※市全体の研修希望者数により調整あり

●問い合わせ先

JAおおいた南部事業部(佐伯)
〒876-0813 佐伯市長島町1-2-4
TEL:0972-25-1231
FAX:0972-25-1241
ホームページ:<https://jaoita.or.jp/>

佐伯市役所 農政課 園芸振興係
〒876-8585 佐伯市中村南町1-1
TEL:0972-22-3239
FAX:0972-22-3477
メール:engeisinkou@city.saiki.lg.jp
ホームページ:
<http://www.city.saiki.oita.jp>

